


<p>内田 幸彦</p>	<p>生業 民俗文化財</p>	<p>① 経歴・職歴 民俗文化センター・生涯学習文化財課・歴史と民俗の博物館・文化資源課を経て、歴史と民俗の博物館</p> <p>② 過去の業務実績 H22第1回埼玉県民俗芸能公開事業運営 H23第53回関東ブロック民俗芸能大会運営 H24～26 県立博物館施設総合調整推進会議事務局を担当 H28企画展「祝いの民俗」運営 R1埼玉県文化財保存活用大綱策定にかかる事務を担当 R3協議会に参加した白岡市・秩父市の文化財保存活用地域計画が県内初の文化庁長官認定 R4「木造飛天像」(秩父市)「木造釈迦如来立像」(美里町)の新規指定・「三峯神社」(秩父市)6棟の追加指定事務を担当</p> <p>③ 研究業績等 H15「埼玉県民俗工芸調査報告書 第14集 鴻巣の赤物」民俗文化センター(分担執筆) H17「埼玉県民俗工芸調査報告書 第15集 埼玉の船大工」民俗文化センター(分担執筆) R5「神送り行事にみる災厄観—ナーリガミをめぐる—」『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要第18号』</p> <p>④ メッセージ 7年ぶりに博物館へ戻ってきました。担当する企画担当・学習支援担当は行政職、学芸員、教員と経歴の異なる多彩な集団です。それぞれの特徴を活かして、博物館の魅力アップを図っていききたいと思います。</p>
<p>うちだ ゆきひこ</p> 		

佐藤 夏美	民俗学 (衣食住・社会)	① 経歴・職歴 R3.4より埼玉県立歴史と民俗の博物館学芸員
さとう なつみ		<p>② 過去の業務実績</p> <p>R4 民俗芸能講習会「江戸里神楽 おかめ・ひよつこの舞」(歴史と民俗の博物館)</p> <p>R4 民俗工芸実演「川口和竿作り」(歴史と民俗の博物館)</p> <p>R4 企画展「銘仙」(歴史と民俗の博物館)</p> <p>R6 文化遺産調査活用事業報告展示「巡り・廻りの民俗行事」(歴史と民俗の博物館)</p> <p>R6 民俗芸能講習会「秩父屋台囃子」(歴史と民俗の博物館)</p> <p>③ 著作・研究実績等</p> <p>R4 『巡り・廻りの民俗行事調査概報 IV』歴史と民俗の博物館(分担執筆)</p> <p>R5 『巡り・廻りの民俗行事調査概報 V』歴史と民俗の博物館(分担執筆)</p> <p>R6 『巡り・廻りの民俗行事調査概報 VI』歴史と民俗の博物館(分担執筆)</p> <p>④ メッセージ</p> <p>埼玉県の学芸員として4年目を迎えました。親しみやすく心に残る博物館を目指し、埼玉の歴史や文化を積極的に学ぶとともに発信に努めていきます。ぜひ博物館にお越しくださいませ。</p> <p>⑤ その他</p> <p>愛車のバイクカーで埼玉の気になるスポットめぐりをしています。</p>




人の生活を中心とした住まいの保存など、生活文化の保存に関心があります。

戸邊 優美	民俗学 (社会)	①経歴・職歴 H28 埼玉県立歴史と民俗の博物館 R3 埼玉県教育局市町村支援部文化資源課 R5 埼玉県立歴史と民俗の博物館
とべ ゆみ		②過去の実績 H30 企画展「田んぼー埼玉、人と水の風景ー」(県立歴史と民俗の博物館) H31 DVD『箕田の百万遍』(県立歴史と民俗の博物館) R2 DVD『今井・本川侯の廻り地蔵』(県立歴史と民俗の博物館) R3 特別展「銘仙」(県立歴史と民俗の博物館) R4 第64回関東ブロック民俗芸能大会(埼玉県大会) ③研究業績 H31 『女講中の民俗誌』岩田書院 R2 『無形民俗文化財調査事業 巡り・廻りの民俗行事 総括報告書 I』県立歴史と民俗の博物館(編集・執筆) R2 「「民俗資料緊急調査票」の活用と埼玉県の食文化」『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要』(14) 県立歴史と民俗の博物館 R3 『銘仙』(展示図録) 県立歴史と民俗の博物館(編集・執筆) R5 「埼玉県における麦食とその変化ー「民俗資料緊急調査票」を資料としてー」『国立歴史民俗博物館研究報告』(241) 国立歴史民俗博物館 ④メッセージ 近年は高度経済成長期の食生活の変化にも興味を持っています。食の世界は奥が深いと感じています。



服部 武	民俗学 (社会)	①経歴・職歴 H3 埼玉県立民俗文化センター H7 埼玉県立博物館 H13 埼玉県立さきたま資料館 H14 さいたま文学館 H17 生涯学習文化財課 H18 埼玉県立歴史と民俗の博物館 H26 さいたま文学館 H27 埼玉県立歴史と民俗の博物館 H28 埼玉県立嵐山史跡の博物館 R3 埼玉県平和資料館 R5 埼玉県立嵐山史跡の博物館 R6 埼玉県立歴史と民俗の博物館
はっとりたける		②過去の実績 H3 民俗工芸記録映画「埼玉の箕作り」制作(民俗文化センター) H4 民俗工芸調査報告書「埼玉の竹細工」担当(民俗文化センター) H5 民俗工芸実演「蕨の篠竹籠パイスケ」担当(民俗文化センター) H12 ミニ企画展「竹細工とこゝろ変われば」担当(県立博物館) H16 企画展「東京近郊一日の行楽―花袋が選んだ癒しの旅―」担当(さいたま文学館) H17 企画展「装丁浪漫」担当(さいたま文学館) H18 企画展「秩父文学の旅」担当・収蔵品展「永井荷風コレクションから」担当(さいたま文学館) H24 特別展「職人のワザとカタ」担当(歴史と民俗の博物館) H28 企画展「平将門」担当(さいたま文学館) R3～4 企画展「昭和の暮らし」担当(埼玉県平和資料館)
		<p>③研究業績 H4 「三郷市のよしず作り」についての報告(民俗文化センター紀要) H7 「在来産業と民俗―蕨の篠竹パイスケについての報告―」(県立博物館紀要) H8 「在来産業と民俗―三郷市のよしず作りについての報告Ⅱ―」(県立博物館紀要) H12「在来産業と民俗―赤山箕についての報告―」(県立博物館紀要) H12「在来産業と民俗 研究会報告」(民具研究) H13「民俗大辞典」パイスケの項 H13「埼玉で発明された民具」(さきたま資料館紀要) H14「職人製作の箕と農家副業の箕の比較」(さきたま資料館紀要) H14「産業社会移行期の竹細工―コメアゲザル・パイスケ・ステカゴ―」(民具マンスリー) H15「特許番号のある民具についての報告」(さきたま資料館紀要) H19「竹細工の機械化についての報告Ⅰ」(民具研究) H20「容器の辞典」ステカゴの項 H20「竹細工の機械化についての報告Ⅱ」(民具研究) H20「農村の余剰労働力による竹細工」(武蔵大学人文学部紀要) H23「明治45年『木材の工芸的利用』に見る東京方面への流通について」 H24「安松箕拾遺」(歴史と民俗の博物館紀要) H28「民具大辞典」大量生産の民具(朝倉書店)</p> <p>④メッセージ 就職の動機は旧埼玉県立民俗文化センターで民俗音楽のCDを出していて面白そうだったからです。意に反して民俗工芸への配属でしたが、これが本当に良かったです。竹細工など当時行われていた民俗工芸には農家の副業によるものが多くありました。それまでは近代化による獅子舞の変貌を研究していたのですが、農家の副業による工芸を調査する方が都市化や近代化と民俗文化の関わりについてよくわかる気がしたのです。調査してみると、明治になってから新たに石炭運搬用に新種の箕が開発されて年間数十万個も生産されていたとか、竹細工用具や養蚕用具などの特許が農村で盛んであったなど驚きの連続でした。先人の知恵やバイタリティーにはただただ感心するばかりで、いつも勇気づけられます。調査方法が聞き取りを主として進めていくものなので、私にとっては誰もが色々な事象を教えてくださいと先生です。また、私がお話を伺った方がご自身で関心をお持ちになり調査するようになることもあります。一緒に勉強していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。(東松山の味噌漉箕についてご存じの方は是非ご連絡ください。)</p>

<p>町田 歩未 まちだ あゆみ</p>	<p>民俗学(生業)</p>	<p>① 経歴・職歴 H31.4～ 歴史と民俗の博物館 学芸員 R06.4～ 文化財・博物館課 主事</p>
	<p>地域産業の継承、 お茶の流通構造</p>	<p>② 過去の業務実績 R1 ミュージアムフォーラム「木本作物農業の産地展開と現況」 R3 企画展「お茶を楽しむ」(歴史と民俗の博物館) R4 企画展「銘仙」(歴史と民俗の博物館) R5 出張講座「お茶づくりの多様化にみる生産者の戦略ー狭山茶生産を事例としてー」 R6 出前講座「かわいいおしゃれ着 秩父銘仙」</p> <p>③ 研究業績等 R3 『銘仙』(展示図録)歴史と民俗の博物館(分担執筆) R4 『お茶を楽しむ』(展示ブックレット)歴史と民俗の博物館(執筆) R4～R6 『巡り・廻りの民俗行事調査概報 IV・V・VI』歴史と民俗の博物館(分担執筆) R5 「企画展『お茶を楽しむ』ー他機関との連携事業も含めてー」(紀要第17号)歴史と民俗の博物館(執筆) R6 『民俗資料を介した市町村立博物館への支援ー羽生市立郷土資料館での県政出前講座を例にー』(紀要第18号)歴史と民俗の博物館(執筆)</p> <p>④ メッセージ 令和6年度から文化財・博物館課、指定文化財担当に異動しました。民俗文化財・無形文化財の保存や活用に尽力します。</p>